

農協役員室で——ネズミ盗聴器

元農協学園長

秋田 義信



此処はロマントピア。カラポネヤミの二人が「昼休みだ」と言い、畠から逃げてきて、湯に入った後、ゴダグ談義をしている。

五所のトランプ「オレエの畠サ、クロホシを吹がせでよごしている奴がいるらしいよ」

黒滝のママコバチ「あちこちに、北朝鮮のような奴が居るからな——」
トランプ「夜にやっているらしいから、モホドリを使って犯人を探すか——」

ママコバチ「どういうエ（家）の畠サ多くクロホシが出ているんだ」
トランプ「ケチで、晩酌も一合限りとか、共同募金や「赤い羽根」は三十円とか」

× × ×

此処は農協の役員室。ママシと油売りがまた来ている。

油売り「組合長！今年から、農協の選果場に、用のないオドゴ達の入場を禁止する、とすべきだよ」

組合長「なせだよ」

油売り「オナゴいいのは、〇〇のカッチャ〇番だとか、〇〇のヨメ〇番だ、などと点数を付けているそつで——」
ママシ「あちこちにログテナシが居るから」

× × ×

役員室に藤沢のFさんが入ってきた。ママシと油売りが帰った後、Fさんが言い出した。組合長に「相談がありますジャ」と。

組合長「ナンデスバ」

F「ワ（吾）、農協の共済に、少し大きく入っているんだけど、ワ（吾）も九十近くになった。」

組合長「まだ元気だナ——」

F「血圧が高くて、いつ、ドット行かワガラネエんだ。そこで、ワ、死んだとき、共済金を何に使えばいいか、それを書きのこしておきたいのだ」

組合長「ウーン、ムンズガシナー——」

「墓石の大きさのコークールはやるべきでないと思っよ」

「佛教は心の

入れかえでもなる」

「過建のことも

悔やみ後悔を居ず

「そのと両出衆の

起点に」

大正大学教授

石上善志談

義信